



令和8年度 入学式『新年度を迎えて』

4月7日(火)、本校体育館にて「令和8年度入学式」を挙行し、今年も新しい年度がスタートしました。

新入生を代表して与那尚也さんが「北山高校生としての自覚と誇りを持ち、一生懸命がかっこいいのスローガンを胸に自立した高校生活を送ります」として誓いの言葉を述べました。

就任式・始業式・若鷲寮入寮式

4月7日の午前中、1学期の始業式に先立ち、教職員の就任式を行いました。

先月に行われた離任式では、多くの先生方が本校を去りましたが、新たに10名の教職員を迎え、本格的に新年度がスタートしました。

始業式では担任紹介もあり、進級した生徒らは新しい担任の先生方の紹介に歓声を上げていました。新しい環境下でそれぞれが思い描く学校生活を始めていきます。

午後の入寮式では、男子寮長の大城文音さん、女子寮長の島袋鈴穂さんが先輩寮生として頼もしいあいさつを、新入生を代表して堂々と平良志成さんがあいさつを述べました。

出会い

3月を別れの季節と呼ぶのであれば、春4月は、出会いの季節と言えます。「出会い」という言葉には、何かしら夢や希望が詰まっています。

人はそれぞれ生育環境が違います。考え方や行動様式もそれぞれ異なるものです。出会いは、新たな価値との遭遇^{まっくわう}といっても過言ではないと思います。

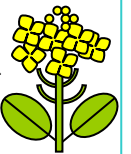
「これは、こうあるべき！こうでなければならぬ！」と思っていた考え方が、新しい価値観との出会いによって、「なるほど、こういう考え方もあるのだ！」と選択の幅を拡げていく。

ある人との出会いが古い自分を脱皮させ自分を新しく変えていく。

人は、出会いによって一つ成長するし、出会いは自分を高めることができるチャンスかもしれません。

本校に赴任してきて、たくさんのお花がメッセージと一緒に校長室に届きました。

私も、これまでの重ねてきた教職人生を振り返ってみると、人生の節目には、特別な方との出会いがあります。

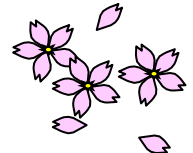


「あの時、あの人との出会いがなかったら・・・、過去のステージであの人と出会わなかったら、私の人生はきっと現在とは異なった方向に走っていったに違いない。今の自分はなかったかもしれない・・・。」

これからの人生の中において、出会いは皆さんの生き方に少なからず影響を与えます。出会いは皆さんの未来を創っていくものなのです。

過去を変えることはできませんが、未来は変えることができるのです。

新しい先生方、新しい友達、この北山高校で、共にすてきな出会いを迎えられることに期待しています。



4月行事

- 7日(火) 就任式・始業式・入寮式・入学式
- 8日(水) 対面式・部紹介
- 15日(水) 身体測定・歯科検診・体力測定
- 28日(火) 新入生歓迎球技大会
- 30日(水) PTA 評議員会